

## エネルギー管理功績者表彰推薦調書

(注) 記載内容は前年度までの実績を記入する。

(作成日を記入) 令和6年〇月〇〇日

表彰の種類	関東経済産業局長表彰	
ふりがな氏名	かんとう たろう 関東太郎	
現住所	(〒 226-0025 ) 〇〇市〇〇区〇〇町〇〇丁目〇〇番地 TEL 045 ( 319 ) 1234 E-MAIL : kanto_taro@koto.co.jp	
生年月日・性別	昭和 〇〇年 〇〇月 〇〇日 ( 〇〇才 ) 男・女 ※年齢は記入年の8月31日現在とする。	
勤務先	名称及び役職名	関東株式会社 製造部 製造課次長 (エネルギー管理者) 法人番号 ( 1234567890123 )
	所在地	(〒 123-6587 ) 〇〇市〇〇区〇〇町〇〇丁目〇〇番地 TEL 042 ( 332 ) 2111
	企業概要	資本金 〇〇, 〇〇〇 百万円 従業員数 〇, 〇〇〇 名
履歴	平成〇〇年 〇〇工場 〇〇部 〇〇課 〇〇主任 入社年は省略可 平成〇〇年 同 係長 平成〇〇年 同 課長 (エネルギー管理者) 平成〇〇年～現在 同 次長 (エネルギー管理者)	
エネルギーの使用 合理化関与年数等	社内	<p>※関与年数はエネルギー使用の合理化関係業務に係る主任、係長等の責任ある職位に就任した日から起算する。 ※当該役職において、エネルギーの使用合理化に関し、どのような業務を行ったかを具体的に記載すること。</p> <p>・平成〇〇年〇月～平成〇〇年〇〇月 〇〇課〇〇主任として電気設備の保安保守管理に従事、電気使用の合理化に取り組む ・平成〇〇年〇月～平成〇〇年〇〇月 〇〇係長として電気設備全般の保安管理、電気使用の合理化、省エネルギーに対策に取り組む ・平成〇〇年〇〇月～平成〇〇年〇〇月 〇〇課長、エネルギー管理者としてエネルギー全般の合理化に取り組む ・平成〇〇年〇〇月～現在 〇〇次長 エネルギー管理者として後進の育成に努めている。</p> <p>関与年数計 〇〇年 〇〇月</p> <p>※当該役職において、エネルギーの使用合理化に関し、どのような業務を行ったかを具</p>

社 外	<p>体的に記載すること。  <u>※法人・団体等に所属していない技術アドバイザー等については「社外」に記載すること。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成〇〇年〇月～平成〇〇年〇〇月 〇〇地区電力協会理事（副会長）</li> <li>・ 平成〇〇年〇月～現在 〇〇地区電気使用合理化委員会委員</li> </ul> <p style="text-align: right;">関与年数計 〇〇 年 〇〇 月</p>
--------	---

※関与年数等の欄には、エネルギーの使用の合理化業務の名称又は役職名等ごとに、関与した当初年月と関与年数を記入のこと。

各 種 免 許 等 (主としてエネルギー関連分のみ)	<p><u>※エネルギー管理士、ボイラー技士（特級）、ボイラー・タービン主任技術者、電気主任技術者、高圧ガス取締法に規定する製造保安責任者免状、消防法に規定する危険物取扱者免状、特定工場における公害防止組織の整備に関する法律に規定する公害防止管理者及び公害防止主任者免状並びにその他これに類する免状等について取得年月を記載すること。</u></p> <p>平成〇〇年〇〇月 第三種電気主任技術者  平成〇〇年〇〇月 第二種電気主任技術者  平成〇〇年〇〇月 第一種電気主任技術者  平成〇〇年〇〇月 エネルギー管理士</p>
表 彰 歴	<p><u>※エネルギー関係の表彰歴（グループでの表彰については、当人が関与したもの）を記載する。</u>  記載する期間については、上記「エネルギーの使用合理化関与年数等」の期間内に受賞したものとすること。  <u>※表彰歴については、エネルギーの使用合理化に関連する表彰制度であることが分かるよう表彰の目的が記載されたもの（表彰要領等）を別紙にて提出すること。</u></p> <p>(個人)  平成〇〇年 関東地区電気使用合理化委員会委員長表彰  <u>※表彰名称は省略しない。省エネ関連の社内表彰等も記入する。</u></p> <p>(工場)  平成〇〇年 関東地区電気使用合理化委員会委員長表彰 最優秀賞  平成〇〇年 エネルギー管理優良工場 関東経済産業局長表彰</p>

## I. 合理化技術の向上

### 1. エネルギーの使用状況

(指定工場の場合は、定期報告書 指定第6表及び指定第7表並びに特定第6表を添付でも可)

(1) エネルギーの使用に係る消費原単位の推移（直近5年度間のデータを記入）

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	5年度間 平均原単位変化
エネルギー消費原単位	(95.92)	(94.96)	(92.97)	(91.11)	(91.11)90	
対前年度比 (%)		99.0	97.9	98.0	100.0	98.7

原単位改善について、候補者が実施した業務	エネルギー原単位の改善にあたり、〇〇年度に△△を、□□年度に××を実施した。
----------------------	--

※5年度間の対前年度比の平均が1%以上改善されていない場合は、(2)にも記載すること。  
 (注) 2023年度実績以前は改正前の省エネ法に基づく数値を( )内に記載し、2023年度のみ改正後の省エネ法に基づく数値を( )外に併記する。

(2) 電気需要最適化評価原単位の推移 (直近5年度間のデータを記入)

事業者ごとに月別/時間帯別のいずれかを選択

電気の使用量の集計区分		■ 月別					□ 時間帯別
		2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	5年度間 平均原単位変化
電気需要最適化評価原単位	(2.140)	(2.135)	(2.138)	(2.123)	(2.026)	2.134	
対前年度比 (%)		99.8	100.1	99.2	95.4	98.6	
原単位改善について、候補者が実施した業務	電気需要最適化評価原単位の改善にあたり、〇〇年度に△△を、□□年度に××を実施した。						

(注) 2023年度実績以前は改正前の省エネ法に基づく数値(電気需要平準化評価原単位)を( )内に記載し、2023年度のみ改正後の省エネ法に基づく数値(電気需要最適化評価原単位)を( )外に併記する。

◎ 原単位について

- ・ 第一種、第二種エネルギー管理指定工場は定期報告の原単位を記入する。
- ・ 原単位は、単位生産量を生産するために、どれだけのエネルギー量を使用したかを表す数値で次式による。

$$\text{エネルギー消費原単位} = (A' - B - B') / C$$

A : エネルギー使用量 (燃料の使用量、他人から供給された熱の使用量、他人から供給された電気の使用量)  
 A' : Aのうち、非化石燃料の使用量に0.8を乗じた使用量  
 B : 販売した副生エネルギー量      B' : 購入した未利用熱量      C : エネルギーの使用量と密接な関係を持つ値

・ エネルギーの使用量と密接な関係を持つ値には、トン、kg、m<sup>3</sup>、箇、台、箱、袋、等のうち最適の単位を用いる。  
 ・ 主要製品で省エネルギー活動が原単位向上として表現できる範囲に絞って計算したのもでも良い。

※2019年度から2023年度までの対前年度比の平均が1%以上改善されていない場合は、(2)にも記載してください。

◎ 電気需要最適化評価原単位について

- ・ 電気需要最適化評価原単位の算出に当たっては、月別または時間帯別の電気需要最適化係数を用いて電気の使用量を補正。

$$\text{電気需要最適化評価原単位} = (A'' - B - B') / C$$

A : エネルギー使用量 (燃料の使用量、他人から供給された熱の使用量、他人から供給された電気の使用量)  
 A'' : Aのうち、非化石燃料の使用量に0.8を乗じ、電気需要最適化係数を考慮した使用量  
 B : 販売した副生エネルギー量      B' : 購入した未利用熱量      C : エネルギーの使用量と密接な関係を持つ値

・ エネルギーの使用量と密接な関係を持つ値には、トン、kg、m<sup>3</sup>、箇、台、箱、袋、等のうち最適の単位を用いる。  
 ・ 主要製品で省エネルギー活動が原単位向上として表現できる範囲に絞って計算したのもでも良い。

【電気需要最適化係数を考慮した使用量の算出方法】

- ・系統電気（自己託送を除く）を、時間帯別電気需要最適化係数または月別電気需要最適化係数で換算
- ・系統電気（自己託送を除く）以外の電気については、エネルギーの使用の合理化の措置と同様の一次換算係数で換算

※時間帯別電気需要最適化係数：30分又は60分単位で計測した系統電気の使用量を一次エネルギー換算する際に用いる係数  
 時間帯別電気需要最適化係数は以下の通り

- (1)再エネ出力制御時：3.60MJ/kWh（2日前の時点で出力制御が見込まれる日の8時から16時）
- (2)需給状況が厳しい時：12.2MJ/kWh（前日の時点で一部の時間帯で広域予備率が5%未満となることが見込まれる日の0時から24時）
- (3)その他の時間帯：9.40MJ/kWh

※月別電気需要最適化係数：1か月単位で計測した系統電気の使用量を一次エネルギー換算する際に用いる係数  
 月別電気需要最適化係数は以下の時間帯の区分で設定される係数を月ごとに平均した値。

報告対象年度における実績値を基に、エリアごとに設定される。

- (1)再エネ出力制御時：3.60MJ/kWh（出力制御を実施した時間帯）
- (2)需給状況が厳しい時：12.2MJ/kWh（一部の時間帯で広域予備率が5%未満となった日の0時から24時）
- (3)その他の時間帯：9.40MJ/kWh

(3)ベンチマーク指標の状況（※該当する事業者のみ記載）

対象となる事業の名称 (セクター)	ベンチマーク指標の状況 (単位)	対象事業のエネルギー使用量 (原油換算 k1)
ベンチマーク達成に向け候補者が関与した業務		

※ベンチマーク制度対象業種の事業を行う事業者のみ記載すること。

対象となる事業の名称には、当該のセクターごとに実施している事業（複数の事業を行う事業者は該当する事業の名称をすべて）の名称を記載し、ベンチマーク指標の状況には、直近年度の事業において、セクター毎にベンチマーク指標の算定方法に従って算定した指標の数値と単位を記載すること。

2. 省エネルギー技術の導入

技術内容	<p>※エネルギーの使用合理化に関し導入した技術と候補者の関与について記載すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・原則として、直近5年度間以内の導入実績を記載する。</li> <li>・記載する件数は問わないが、評価の対象とする技術は「工場等におけるエネルギーの使用の合理化に関する事業者の判断の基準」の目標部分に掲げる技術等とし、最大4件を評価対象とするため、目標部分に該当する技術の導入であることが分かるような記載をすること。</li> <li>・設備導入の場合は、単に設備の導入に留まらず導入後の運用改善を行っていること</li> </ul> <p><u>(記載例)</u></p> <p><u>事例1) 空気調和設備の管理 (判断基準II 1-2 (6) ①空気調和設備)</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・工場の空調エネルギー削減として、外気条件の季節変動や負荷変動等に応じ、稼働台数の調整又は稼働機器の選択により熱源設備の総合的なエネルギー効率を向上させるように運転管理した。令和〇年～現在、空調用温水の熱源を、蒸気ボイラーから電気式空冷ヒートポンプチャラーを優先運転するとともに、送水温度の設定値を〇℃から〇℃に下げ、チャラー運転時の電力量削減を図った。空調用冷水温度についても、▽℃から▽℃に上げ、ターボ冷凍機</li> </ul>
------	---

	<u>、チラー運転時の電力量削減を図った。</u>
--	---------------------------

II. 啓発・普及、指導等

啓発・普及、指導等の具体的な内容

	項 目	時期又は期間	具 体 的 な 内 容
社 内	<u>※所属する企業において、エネルギー管理技術等の啓発・普及、指導等の活動事例を記載すること。</u> <u>※記載する期間については直近5年度間とすること。</u> <u>※記載する件数は問わないが、最大5件を評価対象とするため、具体的内容のほか、候補者の関わりを詳細に記載すること。</u>	令和〇〇年	令和〇年〇月、〇〇工場のエネルギー管理について、委員として内部監査を実施。〇件の不良事項に対し、エネルギー使用合理化の観点からフォローアップを行った。
社 外	<u>※社外におけるエネルギー管理技術等の啓発・普及、指導等の活動事例を記載すること。</u> <u>※記載する期間については直近5年度間とすること。</u> <u>※記載する件数は問わないが、最大5件を評価対象とするため、具体的内容のほか、候補者の関わりを詳細に記載すること。</u> <u>※法人・団体等に所属していない技術アドバイザー等については、社外に記載すること。</u>	令和〇年〇月	令和〇年〇月〇日、〇〇地区電気使用合理化委員会主催のセミナーにおいて自社の電気使用合理化事例について発表した。  受講者数 約150名
		令和〇年〇月	月刊誌「〇〇〇〇〇」〇〇月号に自社の合理化改善事例「〇〇〇の改善による消費電力量の削減」について執筆

			した。

Ⅲ. その他 (1. については被推薦者本人、2. については所属する事業所の状況について記載していただくこと)

1. 重大な法令違反の有無

イ. 有  無

法令違反年月日	法令違反の概要

※刑法で被告人となっている場合や法令に違反し懲役、禁固、罰金刑の執行となったものについて、その内容を記載すること。

2. 事業所等における法令違反、公害及び事故の発生状況

(1) 法令違反の有無

イ. 有  無

法令違反年月日	法令違反の概要

※省エネ法に関する法令違反については過去5年間、省エネ法以外の法令については過去3年間の内容を記載すること。

(2) 公害等の発生状況

イ. 有  無

公害等発生の年月	公害等の概要

※事業者等の責任により、過去3年以内に公害問題等で自治体等に条例等に基づく報告書等を提出したもの又は改善命令等を受けたものについて記載すること。

(3) 事故等の発生状況

イ. 有  無

事故等発生年月日	事故等の概要

--	--

※事業者等の過失により、過去3年以内に死亡者の発生等又は被害の範囲が被表彰候補者（法人、事業所等）の範囲内でおさまらないなど、社会的影響が大きい事故や災害が発生したものについて記載すること。

※推薦理由を記載してください。

--